

50 años con el mundo latino



Me gustaría contarles sobre mis 50 años con el mundo latino.

Masaharu (Max) Minamino



17 de octubre 2025

Deportiva

テレフォニカ(Telefónica)は、スペインに本社を置く世界的な通信企業。
1997年にスペイン政府によって民営化され、その後グローバル展開を加速。
南米では通信民営化の象徴的存在として、地域の通信インフラ整備と市場競争を牽引。

テレフォニカと南米通信民営化の関係



1. 通信民営化の背景

- 1990年代、ラテンアメリカ諸国では国営通信企業の民営化が進行。
- 政府主導の自由化政策により、外国企業の参入が可能に。
- テレフォニカはこの流れに乗り、南米各国の通信企業を積極的に買収。

2. テレフォニカの南米進出

- 主にスペイン語圏(アルゼンチン、チリ、ペルー、コロンビア、エクアドルなど)で事業を展開。
- スペイン語圏では「Movistar」、ブラジルでは「Vivo」ブランドを使用。
- 南米市場は一時期テレフォニカの総収益の約半分を占めるほど重要な地域となった。

伊藤忠のオペレーション



- TELERJ (Telecomunicações do Rio de Janeiro S/A) にテレフォニカ、NTTドコモと共同出資



- VIA DIGITAL (DTS Distribuidora de Televisión por Satélite S. A.) に資本参加

テレフォニカ中南米展開の現状(ブラジル以外は徐々に撤退)

国名	主な動向
アルゼンチン	長年にわたり通信事業を展開していたが、2025年に事業を売却。政府の規制や経済不安定性が背景。
ブラジル	「Vivo」ブランドで展開。南米で唯一、主要市場として位置づけられ、今も事業継続中。
コロンビア	撤退方針により、ルクセンブルクのMillicom社への売却を進行中。
チリ	撤退・統合の対象国。市場状況を見極めながら事業再編を進めている。
ペルー	同様に撤退戦略の対象国。かつてはMovistarブランドで広く展開。
エクアドル	経営資源の集中方針により、段階的な撤退が示唆されている。
ウルグアイ	他のスペイン語圏と同様に、撤退または統合の対象。
ベネズエラ	経済・政治リスクが高く、事業の継続が困難な状況。
グアテマラ	2019年に事業売却。中米市場からの撤退の一環。
エルサルバドル	同じく2019年に売却。
パナマ	撤退済み。
ニカラグア	売却済み。
コスタリカ	売却済み。



テレフォニカはモータースポーツのスポンサーを積極的に展開



F1
テレフォニカルノー
ミナルディテレフォニカ



MOTOGP
テレフォニカモビスターズズキ
テレフォニカモビスターホンダ
テレフォニカモビスターヤマハ



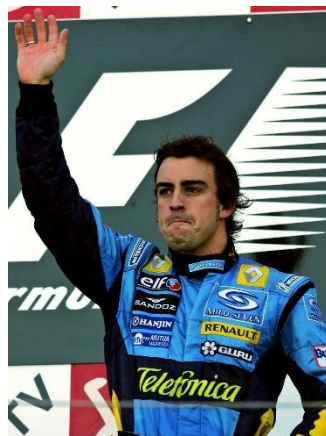
WRC(世界ラリー)
SEAT Sport、Ford、Citroën など



テレフォニカダカールラリー



"Kenny" Roberts Junior



Fernando Alonso



SEAT CORDOBA WRC EVO3 TELEFONICA
Canellas - A. Sanchis CATALUNYA
carmodel.com

ラテン人脈からサッカー&スポーツマーケティングビジネスをスタート

Deportiva

Casting,
Marketing
& Int'l Networks

